

平成25年度 事業報告

【1】平成25年度一般経過報告

はじめに

平成25年6月1日の総会において、役員が改選され、現執行部体制がスタートし、「温故新生」(継承への更なるチャレンジ)をスローガンに掲げ、会員減少に歯止めをかけることを目標として下記重点項目を掲げ事業に取り組んで参りました。

1. 会員増員の更なる展開
2. 健全な財務体質確立を目指し中期計画の検討
3. 公益法人移行に基づく体制の整備
4. 吟界・会員高齢化に対応出来る制度の検討
5. 創立80周年記念全国吟道大会の開催

結 果

1. 平成26年4月1日の会員数は14,307名となり、平成25年4月1日の会員数15,041名から△734名の減少となりました。
又、平成25年度の新入会者数は、900名(内再入会者数91名)で退会者数は1,634名と退会者数が大きく上回りました。次年度は退会者数の減少に努めます。
2. 吟詠普及推進研修会は、6地区で延約2,850人が参加され、関西吟詩の吟法や科学的な発声法など熱心に研修されました。
吟道大学講座は一泊二日コースで外部専門家による研修が行われ、本部研修会では、昇格試験の課題詩や新教本(和歌6題)の研修を行いました。
3. 平成26年3月16日神戸ポートアイランドホールに於いて、創立80周年記念並びに公益社団法人設立2周年全国吟道大会を開催致しました。 会員・来賓・一般来聴者含め 5,900名の参加のもと全会員の絶大なご協力により、盛会に実施することが出来ました。又伝統文化の更なる発展と継承を誓い合う大会となりました。
4. 各部会・委員会・理事会等の役員会が活発に活動し、関西吟詩文化協会の問題点を課題化しました。
 - ①代議員制度について
 - ②正会員について
 - ③昇段昇格期間短縮について
 - ④教本改定について
 - ⑤財務問題について各々の中長期的課題について平成26年度・27年度実施に向けて具体的な提案内容を検討して参ります。

平成 25 年度 事業報告

【2】事業活動報告

自：平成 25 年 4 月 1 日～至：平成 26 年 3 月 31 日

1. 公益目的事業

関西吟詩文化協会は、「詩歌・吟詠を通じて、青少年の健全なる精神の陶冶に資し、わが国文化の発展に寄与し、継承する」ために次の事業を行った。

公益目的 1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

詩歌・吟詠の普及推進研修会、吟詠発表会を開催し、吟詠文化の振興発展の為の事業と其の目的達成の為の教本作成頒布並びに広報活動としての機関誌発行・ホームページなどの事業を行った。

(1) 吟詠普及推進事業吟詠大会（一般来聴公募）

関西吟詩の優れた吟詠を披露し、吟詠のすばらしさを広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及をはかった。

① 次の吟詠普及推進吟詠研修大会を開催しました。（一般来聴公募）

・特別研修会兼推薦師範研修会・・・平成 25 年 6 月 16 日

250 人参加

・九州地区大会・・・平成 25 年 6 月 30 日（日）

190 人参加（内一般会員他 110 人）

・岡山地区大会・・・平成 25 年 8 月 25 日（日）

170 人参加（内一般会員他 100 人）

・四国地区大会・・・平成 25 年 8 月 25 日（日）

190 人参加（内一般会員他 110 人）

・京滋福井地区大会・平成 25 年 9 月 1 日（日）

180 人参加（内一般会員他 100 人）

・名古屋地区大会・平成 26 年 2 月 23 日（日）

300 人参加（内一般会員他 170 人）

(2) 記念大会の開催（一般来聴公募）

・「関西吟詩文化協会創立 80 周年記念並びに

公益社団法人設立 2 周年記念吟道大会」を

平成 26 年 3 月 16 日（日）ワールド記念ホール（神戸ポートアイランドホール）において、会員・ご来賓・一般来聴者 5,900 人の参加で開催致しました。内一般会員他 3,600 人

・各公認会等の記念大会等への後援を行った。

(3) 吟詠普及啓発活動の実施

① 青少年及び教育関係等に対する講師の派遣。

・小中学での課外授業への積極的参加

・公認会などでの青少年詩吟教室開催への講師の派遣

・幼児、児童、生徒（義務教育）向け教本の提供

② 福祉施設・地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進

- ③ 学校・図書館などへの吟詠資料提供。
 - ・公的図書館及び学校の図書館に「教本」・「吟剣詩舞のDVD」の提供
- ④ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的な参加
- ⑤ 路上ライブなどへの積極的参加

(4) 吟詠普及啓発活動助成事業

前(3)項の各推進活動に対して、一定限度内で助成を行った。

(5) 全国幼少年青年部吟詠大会を開催した。(一般来聴公募)

平成 25 年 10 月 20 日 (日) 於：四條畷市市民ホール
270 名参加(内幼少年 50 人・青年部 60 人)

(6) 電磁的公報、機関誌発行を実施した。

- ① ホームページでの吟詠普及を行った。
 - ・漢詩紹介・吟詠コーナー・動画コーナーを拡充し広く吟詠を紹介した。
 - ・特に若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動を紹介する。
- ② 機関誌「吟詩日本」を発行した。(一般販売)
 - ・漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載
 - ・「吟詩日本」発行 (161号、162号、163号、164号)
 - ・「吟詩日本」特別号発行 (正会員、準会員への無料配布)

(7) 教本発行 (一般販売)

① 教本冊子頒布

・教本絶句編		6冊(180題)
単行本	A61~A64	4冊(12題)
・教本律詩編	B1~B3	3冊(90題)
単行本	B31~B33	3冊(9題)
・教本古詩編	C1~C3	3冊(65題)
・教本和歌・俳句・新体詩	D1	1冊(30題)
単行本	D11	1冊(3題)
・教本副読本(アクセント入り)		
4句詩編		1冊
6・8句詩編		1冊
長詩編		1冊
・教本縮刷本		A(絶句編)
		B(律詩編)
		C(古詩編)

② 新教本発行を行った。

- ・教本発行和歌編 D12~D13 2冊(6題)

③ 「たのしい吟詠」の配布・活用を行った。(無料提供用教材)

- ・学校・福祉施設・地域公民館活動などでの吟詠普及活動用教本
(ドレミファの譜面付)

(8)海外移動教室の開講・・・訪問国情勢不安定につき実施を延期しました。

・中国研修(石川忠久先生と漢詩の世界探訪)

平成 25 年 10 月・・・(次年度に延期)

(9)災害復興支援活動を継続実施した。

・災害復興義援金の募集活動継続実施 (日本赤十字社に寄附)

公益目的 2 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

関西吟詩文化協会は、「詩歌・吟詠の技能向上を図り、より優れた吟詠を広く不特定多数の方々に吟詠を普及する為に、吟詠発声法の学理研究及び指導法・作詩法の研究を行い指導者を養成するとともに、競吟大会を通じて技能の向上を図った。

(1) 競吟大会を開催した。(一般来聴歓迎)

① 全国新人中間層競吟大会

平成 25 年 11 月 17 日 (日) 於 東大阪市文化会館

参加者 800 名 内出吟者 332 名

〈予選大会〉大阪・九州・中国・四国・東海・京都・滋賀・奈良・兵庫・岡山で開催し延出吟者約 2,000 人(内正会員なし)

② 全国準師範師範代指導者級吟士権大会

平成 25 年 12 月 8 日 (日) 於 東大阪市文化会館

参加者 800 名 内出吟者 271 名

〈予選大会〉大阪・九州・中国・四国・東海・京都・滋賀・奈良・兵庫・岡山で開催し延出吟者約 1,500 人

(2) 昇段試験、昇格試験および研修会の実施

・内部規定に基づき昇段試験を行い合格者に段位を授与した。

・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験を実施し合格者に指導者としての資格を授与した。

① 昇段試験は内部規定に基づき、一次審査は各公認団体毎に実施し、二次審査は総本部において実施し、会長が認定を行った。

平成 25 年 7 月 1 日 昇段免許授与

平成 26 年 1 月 1 日 昇段免許授与

② 地方昇格試験および研修会を実施した。(師範・準師範・師範代)

福岡試験場 6 月 30 日

広島試験場 6 月 30 日

名古屋試験場 6 月 30 日

③ 昇格試験及び研修会実施 (総本部試験場)

師 範 7 月 7 日

準師範 7 月 21 日

師範代 7 月 28 日

(昇格試験に合格したものには、9 月 1 日付で、9 月 15 日の東明祭において免許状を授与した。)

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行った。

① 吟詠普及推進研修会

- ・九州地区大会・・・平成25年6月30日(日)
190人参加(内一般会員他110人)
- ・岡山地区大会・・・平成25年8月25日(日)
170人参加(内一般会員他100人)
- ・四国地区大会・・・平成25年8月25日(日)
190人参加(内一般会員他110人)
- ・京滋福井地区大会・平成25年9月1日(日)
180人参加(内一般会員他100人)
- ・名古屋地区大会・平成26年2月23日(日)
300人参加(内一般会員他200人)

② 指導者研修会

- ・特別研修会兼推薦師範研修会・・・於:大阪市立此花区民ホール
平成25年6月16日
250人参加(内一般会員他100人)
- ・平成26年度師範昇格試験課題詩講習会 於:交野市ゆうゆうセンター
平成25年9月8日(日)
吟詠6題 和歌3題 310人参加
- ・平成25年度準師範師範代昇格試験課題詩講習会
平成25年11月24日(日) 於:都島区民センター
律詩8題 絶句10題 320人参加
- ・新教本講習会
平成25年5月12日(日) 於:エイリック(尼崎)
和歌3題 335人参加
平成25年9月15日(日) 於:エイリック(尼崎)
和歌3題 443人参加

③ 吟道大学講座の開講

- ・平成26年1月25日～26日 於:パナソニックリゾート
- ・漢詩、作詩法、発声の学理・指導者の心構え・組織運営と活性化等の研修を行った。

参加者 130人

④ 作詩講座 (一般公募)

作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技量の向上をはかった。

- ・毎月第2金曜日 午後6時～8時00分迄
- ・年12回(前期、後期に分けて)
- ・於 総本部 会議室 参加者数 延 600名

⑤ 作詩添削

一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削などの指導を行うとともに自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上をはかった。

- ・4回/年 延 参加者数 400名

⑥ 漢詩鑑賞講座（一般公募）

漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景から広く一般の方にも漢詩を広める目的で開催した。

- ・ 毎月 1 回 午後 1 時～4 時 00 分迄
- ・ 年 12 回
- ・ 於 総本部 会議室 延 参加者数 400 名

(4) 研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新しい教本を発行し、各種研修会の内容の充実を図るとともに、吟詠芸術を探求するなどの研究を行った。

- ・ 教養指導部部会 11 回/年
- ・ 秀詠グループ吟詠研究会 3 回/年

(5) 部会・委員会

広く不特定多数の人に、吟詠に関する調査・研究の成果および吟詠普及活動のための公報活動を行った。

- ・ 広報部 14 回/年
- ・ ホームページ委員会 12 回/年

吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対策案の提言活動を行った。

- ・ 企画事業部 10 回/年

(6) 委員会

会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行う為委員会を設置し活動を行った。

- ・ 教本改定委員会 7 回/年開催
- ・ 作詩添削委員会 5 回/年開催
- ・ 公益社団法人関西吟詩文化協会創立 80 周年記念並びに
公益社団法人設立 2 周年記念全国吟道大会実行委員会
延 63 回/年開催

2. 収益事業

収益 1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CD 等の頒布を行った。

(1) 参考図書販売

- ① 誰にでもできる漢詩の作り方（太刀掛呂山著）
- ② 作詩便覧 宮崎東明編
- ③ 作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行
中国編 関西吟詩文化協会発行

- (2) CDの頒布
 - ①俳句新体詩伴奏曲編
 - ②和漢名詩選(1)
 - ③和漢名詩選(2)
 - ④和漢名詩選(3)
 - ⑤本部指導者研修会収録編
 - ⑥国歌・関西吟詩会歌用伴奏編
- (3) カセットテープ発売
 - ①音階及び譜名表編
- (4) DVDの頒布
 - ①「坂本龍馬」
 - ②「高杉晋作」
 - ③「李白」
 - ④「浮き真砂」
 - ⑤「勝海舟」

収益2 吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)を交付する事業

- ・内部規定に基づき昇段試験を行い合格者に段位を授与した。
- ・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験を実施し合格者に指導者としての資格を授与した。

(1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業

① 昇段免状授与

所定の昇段試験に合格した者に対し免状を授与する。

平成 25 年 7 月 1 日

平成 26 年 1 月 1 日

② 昇格資格者への免状の授与(師範代・準師範・師範)

所定の昇格試験に合格した者に対し免状を授与する。

平成 25 年 9 月 1 日

③ 特別昇格(上師範・高師範・総師範・宗範)

所定の昇格資格に従って特別昇格の免状を授与する。

平成 25 年 9 月 2 日

(2) 記章の販売

「宗帥・宗範・総師範・高師範・上師範・師範・準師範・師範代・会員」バッチの販売

3. 相互扶助事業

その他1 宮崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業・新年互礼事業

相互扶助等事業として、次の事業を行った。

- (1) 東明祭の開催 平成 25 年 9 月 15 日(日)
- (2) 会員増員表彰(個人、支部、会) 於 東明祭 平成 25 年 9 月 15 日(日)
- (3) 敬老祝、成人祝 於 東明祭 平成 25 年 9 月 15 日(日)
- (4) 功労者等顕彰の実施 於 東明祭 平成 25 年 9 月 15 日(日)
 - ・表 彰
 - 特別功労章 (宗 帥)
 - 吟 功 章 (上師範、高師範、総師範、宗範)
 - ・特別昇格 (上師範、高師範、総師範、宗範)

(5) 新年互礼会の開催

平成 26 年 1 月 12 日 (日) 於ホテルグランビア大阪
参加者：元老・相談役・参与・会長他 170 名参加

4. その他の事業

当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業を行った。

(1) 定時総会の開催

平成 25 年 6 月 1 日 (土) 於:エーリック(尼崎市)

(2) 各種会議

- ① 総会
- ② 役員会(正副会長会、理事会、)
- ③ 元老・相談役・参与会議
- ④ 部 会 (総務部・財務部 等)
- ⑤ 懇談会
 - 青年部員懇談会
 - 地区連絡協議会
- ⑥ 法人体制整備委員会
- ⑦ その他特定検討委員会

以上